

【環境 DNA を用いた山岳域モニタリング】

～ボランティア募集のお知らせ～

今回の環境 DNA を用いた山岳域モニタリングは、東北大学を中心としたネイチャーポジティブ成長社会実現拠点プロジェクトの一環として、自然環境や生態系保全の課題の解決のために行われるモニタリングです。

【環境 DNA によるモニタリングとは】

今までは捕獲しなければわからなかった水中の生き物を、水に含まれる生物の DNA を解析することで、その水域に生息する生物種を推定するモニタリングです。現地での作業は調査地の水を採水しただけなので自然環境への負荷が極めて少ない調査方法です。

科学的データが乏しかった東北山岳域でモニタリングを開始し、多地点のモニタリングを継続し日本の山岳域でモニタリングのデータを蓄積していく予定です。そのビッグデータは、山岳域の自然の現状や、気候変動による生態系の変化を把握すること、また、いずれは天気予報のような変化の予測や自然災害等の予防に資する研究への活用、TNFD やネイチャーポジティブなどさまざまな評価への活用も期待されています。

【ネイチャーポジティブ成長社会実現拠点とは】

理念：劣化の進行する自然・生物多様性を 2030 年までに回復基調に 逆転させる「ネイチャーポジティブ」は、社会の持続的発展に不可欠な国際共通目標です。本プロジェクトでは、生物多様性ホット スポットである我が国の豊かな自然を活かし、自然を回復させることで成長発展する新しい自然共生型社会システムの構築を目標 としています。

代表機関：東北大学

プロジェクトリーダー：近藤 倫生 東北大学 大学院生命科学研究科 教授

参画機関：(大学等)かずさ DNA 研究所、京都大学、筑波大学、東邦大学、北海道大学
(企業等)株式会社佐久、東北緑化環境保全株式会社、日本郵船株式会社、一般社団法人コンサベーション・アラ イアンス・ジャパン、認定 NPO 法人アースウォッチ・ジャパン、一般社団法人サステナビリティセンター、ジャパンプルーエコノ ミー技術研究組合、公益社団法人日本山岳会、NPO 法人 FIRST ASCENT JAPAN.、宮城県山岳連盟、神奈川県環境科学センター、南三陸町自然環境活用センターなど

■ 環境 DNA を用いた山岳域モニタリング対象地域

東北を中心とした山岳域

(他、大雪山、木曽駒ヶ岳、浅間山、南アルプス、北アルプス予定有)

■実施期間(予定)

2023 年 4 月～6 月末

■調査地対象

山岳域の河川、湖沼 池塘、または山岳域以外の河川流域

※注意 できれば上流部に人家、宿泊施設等ないことが望ましいです。

■実施件数及び頻度

今年度 90 地点 年に 1 回実施 (次年度以降も定期的に実施予定)

■DNA 分析実施会社及び解析研究室

かずさ DNA 研究所 東北大学生命科学研究科近藤研究室

■モニタリングの科学的手法

環境DNAメタバーコーディングによる網羅的な魚類の検出

■モニタリングの大まかな流れ

参加申込→オンライン事前説明会→採水キット配布 →

モニタリング地にて 2 名 1 組で採水ろ過作業→サンプルを送付 (6 月終了)

環境 DNA 分析作業→ 研究機関による解析作業(結果は 11 月予定)

モニタリング結果の通知(2023 年冬 オンライン報告会予定)

ご希望の場合には本人または団体に直接メールにて連絡いたします。

■モニタリングに関わる費用分担

無償分：環境 DNA 採水キット代、送料、ボランティア保険、分析解析に関わる費用

参加者自己負担分：山岳保険 モニタリング地までの交通費 採水作業に伴う飲食代

■オンライン事前説明会

2023 年 4 月 16 日（日）17:00～18:00

※注意 事前説明会参加は必須項目となります。

もし参加できない場合は録画したものをご覧ください。

■オンライン事前申込

申込みフォーム

<https://forms.gle/PpjxmaugXsoFPGM6>

メールでのお申込み

メールタイトル

オンライン事前説明会参加希望

本文

1) 所属団体名 または都道府県名

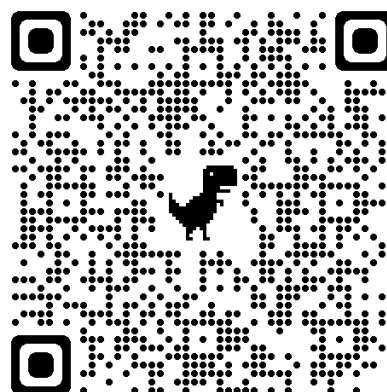
2) 参加希望者名

3) 参加者メールアドレス

3) モニタリングを希望する山域 採水地点（決まってない場合は未定で可）

宛先 go.up.miyagi@gmail.com

FAJ むらかみみちこ迄



■お問合せ

宮城県加美町味ヶ袋薬菜原 1-81

ボルダリングパークやくらい WALL

電話：0229-25-4544

特定非営利活動法人 FIRST ASCENT JAPAN.

宮城県山岳連盟

担当むらかみ